

本件は、エネルギー記者会、環境問題研究会に資料配布しています。

2017年11月2日

「学校における省エネ教育プログラム」の開発および

2018年度実証校の募集開始について

東京ガス株式会社
株式会社住環境計画研究所

東京ガス株式会社（代表取締役社長：広瀬 道明、以下「東京ガス」）と株式会社住環境計画研究所（代表取締役会長：中上 英俊、以下「住環境計画研究所」）は、「学校における省エネ教育プログラム」（以下「本プログラム」）を共同で開発し、2018年度実証校の募集を本日より開始します。

東京ガスと住環境計画研究所は、環境省が実施している「低炭素型の行動変容を促す情報発信（ナッジ*1）による家庭等の自発的対策推進事業*2」の一環である「生活者・事業所・地域社会の『三方良し』を実現する日本版ナッジモデルの構築」に参画しています。その取り組みとして、本プログラムを開発し、今後、各年度の環境省事業の実施を前提に、小学校・中学校・高等学校・大学において本プログラムを活用する計画です。2018年度は中学校・高等学校での教育効果を検証するため、このたび、その実証校を募集します。

本プログラムは、学習者が「主体的・対話的・深い学び」を習得できるアクティブ・ラーニングおよび行動科学などの先進的な知見を用いながら、学校教育に容易に導入できるように開発されています。生徒が自ら実感・体感するだけでなく、各家庭での電気・ガス・水道メーターの読み取り値や、取り組んだ省エネ行動の成果を記入する「行動プランシート」の内容などから、教育による省エネ効果を定性的かつ定量的に評価することが特徴です。我が国においては新しい取り組みであり、今後の環境教育の推進方法を検討する上で重要な位置づけになることが期待できます。

東京ガスと住環境計画研究所は、今後とも、省エネ行動の普及活動により、家庭でのCO2削減を推進してまいります。

*1 ナッジ：（英語 nudge）「ひじで軽く突く、そっと後押しする」という意味で、人々が自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語。

*2 環境省が2017年度から2021年度まで段階的に実施を予定している事業。

環境省ホームページ：<http://www.env.go.jp/press/103926.html>

【募集概要】

1. 募集期間：2017年11月～2018年8月

※既定の応募数に達した時点で締め切らせて頂きます。

2. 募集対象：全国の中学校・高等学校の生徒（全体で1,500名程度）

3. 実証期間

次の期間のうち、約6週間（記入済行動プランシート回収までを含む）

①2018年5月14日（月）～2018年7月31日（火）

②2018年8月27日（月）～2018年11月30日（金）

※夏休み期間は実証事業の対象外とするため、①もしくは②内で授業が完結するものとします。

4. 応募条件

①本教育プログラムの授業5時間分の実践（別紙1参照）

②実践する授業で生徒が作成する資料の提出（省エネ博士からの挑戦状／エネルギーデータ報告シート、選択授業行動プランシート、新聞制作課題）

※実践授業の様子を撮影した写真（2～3枚）、アンケート（先生が記入）の提出（予定）。

※授業に必要な教材などは、事務局より支給（無償）します。

5. 応募に関する問い合わせおよび検討申込書の送付先

「今日からはじめる省エネ行動」運営事務局（ロケーションリサーチ内）

住所：〒104-0033 東京都中央区新川2-6-2

電話：03-5244-9484（平日10:00～17:00以外は留守番電話対応）

FAX：03-5244-9484 E-mail:sawai@location-research.co.jp

担当：栗井（あわい）

以上

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ>

東京ガス株式会社 広報部 報道グループ 堀内 TEL：03-5400-7675

株式会社住環境計画研究所 矢田 TEL：03-3234-1177

プログラムの内容（生徒用ワークブックから抜粋）

学習の流れ

本授業では、環境問題と日常生活のかかわりに気づき、日常生活の中で自分ができること、家族でできることを選択し、自ら実践できるようになることを目的としています。よりよい生活の実現と持続可能な社会を目指して、工夫してみましょう。（ステップ0：20分、ステップ1-4：各50分）



ステップ	題材名	主な学習活動	課題
0	【事前】 家の電気・ガス・水道の メーターを読もう	・電気、ガス、水道メーターの設置場所、メーターの数値の読み取り方を知り、記録できる。	・メーター読み取り 報告シートの記入
1	【課題発見】 地球環境問題と省エネルギー の関係とは？	・家の中のどこかでどんなエネルギーを使っているか、エネルギー資源や地球温暖化問題について理解し、自分たちの生活の中でできることをまとめることができる。	・メーター読み取り 報告シートの記入 ・省エネ博士からの 挑戦状の記入 ・新聞作成
2	【解決方法の検討と計画】 自分ができる省エネ行動は 何だろう？	・もったいないエネルギーの使い方をしていないかどうか気づき、どのような使い方が省エネエネルギーにつながるのかを仕組みと合わせて理解し、省エネ行動を家庭や学校で実践する。 ・新聞作成のための調べ学習を通して、地球環境問題を掘り下げ、自ら省エネ行動の大切さに気づく。	・メーター読み取り 報告シートの記入 ・省エネ博士からの 挑戦状の記入 ・新聞作成 ・必要に応じて次週の 予習
3	【課題解決に向けた実践活動】 省エネ行動を体験・実践して みよう ※いずれか1つ実施	<p><体験学習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコクッキング:身近なカレーライスの調理をとおして、買い物、調理、片づけにおける環境に配慮した行動を理解する。 <p><実験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保温・断熱実験:衣食住の中で熱エネルギーが果たしている役割に気づき、どのような対策ができるか理解する。 ・節電実験:照明や身近な家電製品の消費電力を計測することで、節電対策について理解する。 ・余熱活用実験:ホットケーキの調理実習を通して、熱を上手に活用する方法を理解する。 ・節水・節湯実験:上手な食器洗浄方法を体験し、水や湯、洗剤を上手に使う方法を理解する。 <p><疑似体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコな買い物&調理ゲーム:環境に配慮した買い物と調理について、疑似体験を通して経験し、理解する。 ・省エネ行動トラップ:生活と環境とのかかわりから、家庭でできる省エネ行動を理解する。 ・エコな住まい方すごろく:住環境の機能や問題点を知り、生活の工夫や改善方法を理解する。 	・メーター読み取り 報告シートの記入 ・省エネ博士からの 挑戦状の記入 ・新聞作成
4	【実践活動の評価改善】 持続可能な社会に向けて発信 しよう	・4時間の授業を振り返り、省エネ行動を実践することで、家庭の電気・ガス・水の使用量がどれくらい減ったかを確認する。 ・これまでの調べ学習を通じた、新聞を作成・発表し、お互いの理解を深めるとともに、自分の省エネ行動をコミットメントする。	・メーター読み取り 報告シートの記入 ・省エネ博士からの 挑戦状の記入 ・新聞作成